

附 58年のあゆみ

1 和歌山県林業試験場

昭和11年4月に東牟婁郡高池町（現古座川町高池）設立された和歌山県林業試験場は昭和17年には下記の体制を整えて林業の振興に参加していた。

職員 技師（場長）一名、技手二名、属一名、助手二名

建物 本館並びに付属建物 83坪

研究内容 特殊樹種に関する事項

活性炭に関する事項

樹苗養成並びに配布に関する事項

ガソリン代用木炭に関する事項

択伐改良に関する事項

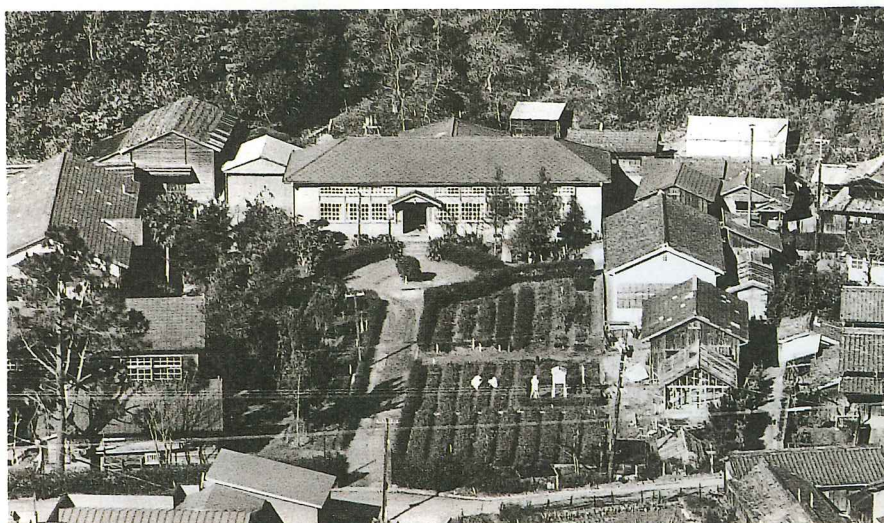
酢酸石灰に関する事項

混農に関する事項

しゅうろ漂白に関する事項

製炭に関する事項

木竹加工に関する事項



古座川当時の試験場



木炭に関する試験
〔築窯作業〕



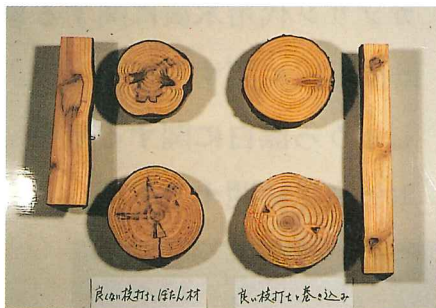
しゅうろに関する試験
〔1年生苗圃〕

昭和22年からは民選知事のもと新たなスタートが切られた。

林業センターへのバトンタッチまでの26年間は戦後の荒廃した山河の復旧に参画しスギ・ヒノキの種苗から育成までの研究に力を注いだ。また山村の収入確保として特用林産とくに椎茸の研究で成果を上げた。森林保護の面では、松食い虫被害対策に力が注がれマツノマダラカミキリの発生予察やマツノザイセンチュウの発見など多くの成果を見た。

以下58年の間に発表された論文等を掲載します。

〔昭和40年代〕



枝打ちに関する試験



林地除草剤に関する試験



松クイ虫に関する試験
〔潮岬試験地〕



〔マツノマダラカミキリの成虫と幼虫〕



食用きのこに関する試験
〔シイタケの栽培〕



〔ヒラタケの栽培〕